

児童図書研究室ニュース

2014. 7. 19

福島県立図書館 <http://www.library.fks.ed.jp/>

No. 84

学校図書館法の一部を改正する法律

学校図書館法の一部を改正する法律が2014年6月に成立し、新たに設けられた第六条により学校司書が法制化されることになりました。今後、学校司書としての資格の在り方、その養成の在り方等について検討が行われ、その結果に基づいて必要な措置が講じられることになります。この法律は、平成27年4月1日から施行されます。

(学校司書)

第六条 学校には、前条第一項の司書教諭のほか、学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児童又は生徒及び教員による学校図書館の利用の一層の促進に資するため、専ら学校図書館の職務に従事する職員(次項において「学校司書」という。)を置くよう努めなければならない。

2 国及び地方公共団体は、学校司書の資質の向上を図るため、研修の実施その他の必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

郡山市中央図書館に「こども図書館」

郡山市中央図書館では、これまでの児童コーナーを「こども図書館」としてリニューアルしました。おはなし会室を常時開放して子どもたちが自由に本を読めるスペースとし、新たに仕掛け絵本のコーナーを設置しています。

『図書館実践事例集～人・まち・社会を育む情報拠点を目指して～』

http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/toshoto/jirei/

図書館の参考となる全国各地の図書館として、福島県からは、「図書館って楽しいな こども図書館講座 開講～小学生をもっと図書館に！」(小野町ふるさと文化の館図書館)、「知的好奇心を刺激する棚づくり～利用者の心をつかむ本棚～」(南相馬市立中央図書館)が紹介されています。

研修会のお知らせ

・**読書活動支援者育成事業 ステップアップ研修(研修A)** 主催:福島県教育委員会 ※参加無料

対象: 読書活動推進に向けて活動する方、活動に関心のある方、ボランティアをはじめてみたい方

内容:選書と読み聞かせの仕方、魅力ある図書館づくり等

期 日	会 場	申込み先
平成26年7月31日(木)	相馬市総合福祉センターはまなす館	相双教育事務所 (TEL:0244-26-1315)
平成26年8月19日(火)	いわき合同庁舎	いわき教育事務所 (TEL:0246-24-6144)
平成26年8月23日(土)	白河市立図書館	県南教育事務所 (TEL:0248-23-1666)
平成26年9月3日(水)	下郷ふれあいセンター	南会津教育事務所 (TEL:0241-62-5363)
平成26年9月8日(月)	湯川公民館	会津教育事務所 (TEL:0242-29-5483)

・**読書活動支援者育成事業 ステップアップ研修(研修B)** 主催:福島県教育委員会 ※参加無料

対象:現在子ども読書活動推進に向けて活動している方

内容:発達段階(乳幼児期・学童期・思春期)に応じた内容、専門性を深めていく内容等

期日<会場>:平成26年8月7日(木)・8日(金) <福島県青少年会館> 申込〆切7月24日

平成26年9月11日(木)・12日(金) <労働福祉会館>(郡山市) 申込〆切8月28日

平成26年10月16日(木)・17日(金) <湯川公民館> 申込〆切10月2日

平成26年11月13日(木)・14日(金) <いわき合同庁舎南分庁舎> 申込〆切10月30日

申し込み先:福島県教育庁 社会教育課 TEL:024-521-7799

詳細情報 <http://www.syakai.fks.ed.jp/suishinkatudou/stepup.pdf>

講演会報告

白河市に市立図書館と学校図書館とがあること

—ひとり一人の市民と先生と子どもたちのために—

平成26年5月29日に、白河市立図書館において、竹内 慎氏(図書館情報大学名誉教授)の講演がありました。「そのとき子供にはわからないが、”白河市には市にも学校にも図書館があったから、今の自分がある”といつてくれるようありたい」と述べ、「図書館は、そこで働く人によって、良くも悪くもなります。」という図

書館職員の重要性から、「人の前で読み聞かせをするときは、鏡の前で20回は読まないと、子どもの前に立ってはならない」という、子どもに向こうときの図書館職員の姿勢まで、図書館サービスの基本について講演されました。

講演の内容については、『出版ニュース 2014.7』(7月上旬号 通巻2349号)「当たり前のことで、だから大切なこと いま学校図書館の基本を考える—白河市立図書館での講演から」に掲載されています。

映画「疎開した40万冊の図書」

日比谷図書館の蔵書40万冊を戦禍を逃れるために1944年から1945年にかけて疎開させました。図書館員をはじめ、都立一中の中学生たちが、リュックや大八車を押して、50キロ離れた奥多摩や埼玉県志木市に何回も足を運び、本を運びました。この史実を伝えたドキュメンタリー映画です。

この映画の中では、現代の図書にまつわる話も取り上げられており、福島県飯舘村の「あなたにつなぐ飯舘絵本リレー事業」で、全国から5万冊以上の本が飯舘村に届けられたことが紹介されています。

参考:『疎開した四〇万冊の図書』金高謙二／著 幻戯書房 2013

『読む知る話すほんとうにあったお話 5年生』講談社 2013

※「戦火をのがれた四十万冊 1945年5月 日比谷図書館焼失」が収録されています。



■福島県立図書館/こどものへや



■いわき市立図書館/こどものページ



■泉崎図書館/こどもとしょかん



■矢吹町図書館/こどものためのとしょかんサイト

夏休み・福島県内児童書関連展示会情報

「フシギな世界との出会い 香川元太郎の巨大迷路展」

期間：平成26年7月19日（土）～8月24日（日）

場所：福島市子どもの夢を育む施設こむこむ

夏休みミニ展示「むかしの子ども雑誌」

期間：平成26年7月19日（土）～8月24日（日）

場所：こおりやま文学の森 郡山市文学資料館 ※有料

福島県立図書館移転30周年事業 「30歳になった絵本展」

期間：平成26年7月23日（水）～27日（日）

場所：福島県立図書館 こどものへや

特別企画展「14ひきのシリーズ誕生30年 いわむらかずお絵本原画展」

期間：平成26年8月9日（土）～8月31日（日）

場所：郡山市民文化センター展示室 ※有料

福島県内図書館 子どものためのWebサイト

■福島県立図書館／こどものへや

<http://www.library.fks.ed.jp/ippan/children/j/child.html>

■いわき市立図書館／こどものページ

<http://library.city.iwaki.fukushima.jp/index.html?id=3>

■泉崎図書館／こどもとしょかん

<http://www.vill.izumizaki.fukushima.jp/toshokan/toshokankids.html>

■矢吹町図書館／こどものためのとしょかんサイト

<http://www.library-yabuki.jp/children/common/top/>

その他、伊達市立図書館には「こどもよう」の検索表示があり、白河市立図書館、須賀川市図書館、相馬市図書館、田村市図書館、二本松市立図書館、本宮市立しらさわ夢図書館、小野町ふるさと文化の館、新地町図書館、猪苗代町図書館、塙町図書館、南会津町図書館、三春町民図書館ではラジオボタンで「こどもページ」を選択できるようにしています。